

門真市総合計画審議会 第3回審議会（第2部会） 議事録

場 所：門真市役所別館 3階第2会議室

日 時：平成21年9月11日（金） 午前10時～12時

出欠状況：審議会委員（五十音順） 敬称略

第1号委員（市民）

豎月邦治

第2号委員（学識経験者）

川勝健志（部会長）・末村祐子（欠）・寺前 章・村田文雄

第3号委員（関係行政機関）

山口利廣（欠）

事務局：門真市総合政策部

部長 北口政昭 次長 稲毛雅夫

企画課長 水野知加子 課長補佐 小野直宏

係員 湯川みずほ・高田賢一

受託業者：株式会社かんこう 馬場明男

1. 開会（事務局）

2. 議事

（以後、部会長が議事進行）

案件1. 門真市第5次総合計画＜基本計画＞（案）について

◇事務局より「門真市第5次総合計画＜基本計画＞（案）基本計画総論について説明

（本案に関する意見）

発言者	内容
委員	<p>1頁の計画のコンセプトについて、市民会議などで検討したことが反映され、内容的に記載されているもので良いと思っている。「わかる」「使える」「めざす」は、計画のポイントになるところであり、図式化するなど視覚的に訴えるものにしてはどうかと思う。</p> <p>2頁、3頁については、「PDCAサイクルを用い、改善を継続的に行うこと」とあるように、スパイラルアップということが重要だと思う。これもスパイラルアップということがイメージできる図にならないか。</p> <p>11頁の人口・世帯数について、門真市の人口減少や少子高齢化が日本全体や大阪府と比較して特有の問題であるのかどうかを知りたい。言葉でもよいので分かるようにしてほしい。</p>

事務局	<p>15 頁の「重点的に取り組む視点と課題」もこの計画のポイントになるところであり、図にするなど、視覚的に訴えるものにし、市民も市役所職員もあの図だなという印象が残るようにしてはどうかと思う。</p>
委員	<p>図の作成については、分かりやすくできるかどうか、事務局で検討を行う。</p>
委員	<p>2 頁、3 頁のスパイラルアップについては事務局でもかなり図にできないかと試みたが、なかなかうまく表現できず、文章で補完できないかと考えている。</p>
事務局	<p>文章の中に、スパイラルアップということと回して向上していくということを入れて頂ければよい。</p> <p>門真市は、大阪の都心から比較的便利なまちであるということは認識しており、いろいろなどところに行くにしても便利で住みやすいと思っている。ただ、欠点は緑が少ないことである。大きな河川がないありふれたまちであるが、大阪の近郊都市として、若者が住みに来たい、住みつきたいと思うよう、これから行政が支援する方法で呼び込み、呼び込んだ人たちが、このまちは良いまちだと定着してもらえるようにしていく必要がある。このような方策を総合計画で十分に表現し、取り組んでいけるようにしてはどうかと思う。</p>
委員	<p>事務局としても、今の意見の通り、若い世代の転入、定住を促進していきたいと考えており、そのためにも「重点的に取り組む視点と課題」として、教育の推進や視覚的にも魅力あるまちにということで顔づくりになるようなまちづくりも一定ある程度進めていきたいと考えている。さらに定住して頂けるように、市政運営を安定化することも必要であり、持続可能な都市経営ということをあげている。若者の転入と定住を進めるために、この「重点的に取り組む視点と課題」に取り組んでいきたいと考えているが、さらに表現的に強調が必要であるということであれば、前段の導入部分に文章を加えるという方向での修正は検討できるかと思う。</p>
部会長 事務局	<p>若者の定住には子育ての問題があると思う。専門家に聞いた話であるが、行政としては保育所を拡充し、保育所の待機児童が無いようにしていく方向であるが、幼稚園としては子どもが減って、幼稚園は縮小化している。認定保育園制度などをもっと活用することを考えてもらえないか。幼稚園が縮小化する中で、居残り保育などの導入をしようとしているが、若いお母さんに深く理解してもらえないところがあるのではないかと思うので、保育と幼稚園とが一体化した窓口をつくってほしいという要望がある。市役所に行けば、幼稚園のことでは教育委員会、保育所のことで行くと民生の関係の窓口といった状況である。そうではなく、子育て支援課において全部対応できるようにしてはという幼稚園側からの要望もある。幼稚園は施設も人材も余っているので、保育所と同じように経営をかけて行ってほしいという希望があった。厚生労働省や文部科学省などに関係なく、総合計画では、子育てについてのプロセスを作っしてほしいという要望があった。</p>
委員	<p>今の意見については、各論部分にも関連するので、そのところで検討をしたい。</p> <p>事務局としては、従来から幼保の窓口の一元化は課題として取り組んでいる。今までは幼稚園は学校教育、保育所の関係は福祉サービスに分けて計画していたが、この総合計画では、例えば、37 頁に記載しているように、就学前の教育面では保育所も幼稚園も教育的な観点から教育を進めていくことや子育て支援面では保育サービスを充実させていくという方向であり、残る課題としては、組織の窓口の一元化ではないかと考えている。従来からの課題であり、できるかぎり早急に課題の解消に努めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>「重点的に取り組む視点と課題」には教育という面では、「生きる力を育む教育の推進」に入っているが、「重点的に取り組む視点と課題」の一つとして子育て支援が入っていればと思う。子育て支援の観点は「生きる力を育む教育の推進」に該当すると</p>

	考えればよいか。
事務局	「生きる力を育む教育の推進」では教育力を高めていくことを言っているので、意味が読み込めるかどうかは不明であるが、学校教育だけでなく、地域などでの教育という面で子育て支援を含めているつもりである。
委員	門真市に行けばいろいろと子育て支援があるので住んでみたいと思ってもらえるような重点課題も必要かと思う。各論の中で網羅していくにしても総論でもそのようなことが記載できないかと思う。
部会長	「重点的に取り組む視点と課題」では、「オンリーワンのまちづくりプロジェクトの推進」や「持続可能な都市経営への取り組みの推進」は大きな課題であるが、「生きる力を育む教育の推進」はピンポイントの課題となっている。「いろいろな子育て支援があるので住んでみたいと思ってもらえるような重点課題も必要かと思う。」という意見を取り入れるならば、「生きる力を育てる」というようなタイトルにし、広い幅を持ったネーミングにする方法もあるのではないかと提案できる。 総合計画は、市民にいかに分かりやすく伝えるかが重要である。各論では、現況と課題があり、それを受けてこうしていきますと非常にわかりやすい形になっている。ただ、総論と各論が内容的に少し重複しているようなところも感じられる。例えば、総論の最初にはこの基本計画の性格などが記載されているが、途中から人口・世帯や土地利用の話が出てくるなど、この総論の位置づけがもう一つ首尾一貫してないように思う。一般的に総合計画は、今提示されているような形にはなっているが、どのような構成の考え方を確認したい。
事務局	各論に総合的に関連する部分を総論の項目として取りあげている。それと基本構想を補完することも考えている。事務局としては、総論と各論が少し重なるかもしれないが、やむを得ないのかと考えている。
部会長	概要版との重なりにも配慮しながら考えていく必要があるのではないかと思う。
委員	総合計画としてはどのような形で公表の対象になるのか。その公表の形によっては編集上繰り返しも良いようなところも出てくるのではないかと思う。
事務局	基本構想と基本計画が1冊になり、総合計画書となる。それと概要版を作成し、公表することになる。 今回の総合計画の策定は、市民や市役所の多くの方が参加し、多様な意見を出し合い構成されている。不要な部分もあるかと思うが、それぞれの意見が反映されているのではないかと思っている。参加された方の意見の形跡は残した方が、参加したという思いを伝えることができるのではないかと思う。市民に分かりやすく伝えるのは概要版がその役割を果たし、この十年間何をしていくのか、また、市民として何をすればよいのか、概要版で概ね伝えられ、詳細に知ろうと思えば本編をみれば分かるというようにすれば良いのではないかと考えている。
部会長	これまでのやり方を踏襲しなければならぬということに縛られない方が良いのではということをお願いだけであり、一番大切なことはみんなが知っているということであり、どちらが良いかは判断していけば良いと思う。
事務局	現在、ホームページでも見ることができ、詳細なことを知るためには、できるかぎり細かくみることができる方がよいのではと思う。
委員	「中味がすっきりしていない」と言う人も出てくるので、読む人に多様な人が関わってできたものであることを、できれば最初に断りを入れてみてはどうかと思う。

◇事務局より門真市第5次総合計画<基本計画>（案）基本計画各論第1章について説明

（本案に関する意見）

発言者	内容
委員	<p>指標の目標値の考え方について、他市から比べて遅れているので他市の平均までもっていかうとかいろいろな考え方があるかと思う。目標設定の基本的な考え方について知りたい。</p> <p>指標で「市民の評価点」を用いられているものもあるが、アンケートで5段階評価にすると、普通にしていれば「3の普通」に回答が多くなり、4や4.5などの目標を達成するのは難しいのではないかと思う。平均値にしてしまうと分かりにくくなる面もある。満足をしてもらうことを指標にする必要があるならば、満足している人の割合を現状から10年後はそれを増やすというようにした方が良いのではないかと思う。また、不満を解消してもらうことを指標にする必要があるならば、満足していない人の割合を現状から10年後はそれを減らすというようにした方が、意味があるように思うので、検討をして頂ければと思う。平均値ではなく処理した値でないと正確に出てこないのではないかと思う。</p> <p>27頁の「市民に信頼される市役所をつくります」に関連し、市民会議でも野良猫の対策について、市役所にいっても対応してもらえないという話を常にされていた方がいた。市役所が公正や平等といった視点から市民の要望全てに対応することはできないということは理解でき、また、議員の方を通せばその要望が通るというのもおかしい。しかし、そういった要望に対し、行政組織として公正性や平等といった視点で対応していることを示す方法として、要望の内容とその対応についてドキュメントファイル化していくことが提案できる。そうすることにより、市役所の対応も前例などが容易に分かり、負担も軽減されるのではないかと思う。そのようなシステムは今あるのか知りたい。部課によって異なっているとは思いますが、一元化されたものは現在あるのか知りたい。このようなことが1項目でも指標化され反映されたら良いのではと思っている。</p>
事務局	<p>市民アンケート結果の平均値による目標設定については、基本的には5年後には平均の3をめざして、10年後にはそれ以上をめざしてがんばろうと担当課と調整してきたところである。ただし、第1章の協働の分野については重点的に施策の展開が必要であると考え、他の分野よりも高めの目標を設定している。</p> <p>要望の処理について、現在、秘書広報課に公聴の担当があり、そこが最初の窓口となり、そこから担当の部課に要望内容を伝えて、回答できるものはそこから回答するようしくみはもっているが、統一的なしくみと言ったところまでは構築できていないので、今後の検討課題かと思う。</p>
委員	<p>全職員が、しくみの運用を理解し、統一的に電話でも来庁でも要望を受け付けることができる対応ができるようになればよいのではと思う。</p>
事務局	<p>インターネットにより出てきたものは、その結果を返しているということは制度として運用しているが、日々、各部課に要望も相当あるので、なかなか統一的に運用することは難しい面もある。ただ、最近始めたことであるが、基本的には無くさないといけないが、行政対応としてたまに誤りもあり、対応を誤ったことについては、隠さずに職員全員が共有し、各部課でも誤りを起こさないようにするための取り組みを始めている。できることから具体的に取組んでいきたいと考えている。</p>

委員	<p>隣近所のコミュニティが希薄化してきていることは記載されているが、最も身近なコミュニティは家族ではないかと思う。まずは、家族間のコミュニティが充足していくことにより、隣近所、向こう三軒両隣といったコミュニティに広がり、さらに校区や地域に広がっていくと思う。まず家族のコミュニティを大事にすることを提言として一言入れたら良いのではないかと思う。信頼しあえる家族がいっぱいあることにより、地域のコミュニティが素晴らしいものになっていくのではないかと思う。家族をテーマにしたコミュニティを一言いれたら良いのではないかと思う。</p>
委員	<p>行政の施策として扱う方法としては難しい面もあるが、是非、家庭が基本であることを入れてほしい。</p>
委員	<p>親は子どもを育てる義務があるので、一番身近なコミュニティである家族への心がけが大切だと思う。</p>
委員	<p>23 頁に「支えあい活動などのお礼の対価として地域通貨を活用し、…」と記載されているだけで、取り組みの方向が示されていないが、できないということであるのか。</p>
委員	<p>数年前はすぐにでも実施するというような感じであった。いろいろなところを視察もしたが、助け合いの社会をつくるうえで地域通貨はボランティアを広げていくには良い方法だと思った。門真でもという話の中で、NPOが育っていないということから、少し先送りになったのではないかと考えている。今は、NPOも何団体か誕生しており、地域通貨の話を復活させ、実施するという方向で進めて頂けないかと考えている。</p>
事務局	<p>方向性として、後退しているということではなく、実施する方向で担当部課では検討を進めており、マニュアル化も進めている。ただ、この部分は、市民が主役となって活躍できる舞台をつくるということから、その方法として、現状と課題では、このような事例もありますという書き方になっているので、もう少し強調した方が良いでしょうと思うので、再考をしたい。</p>
委員	<p>他の部分で記載されていないのであれば、もう少し主体的な取り組みを示唆する方向での記載が必要ではないかと思う。</p>
部会長	<p>市役所は何でも対応しすぎだと思う。行政はサービス精神が旺盛であるが、職員の多くはその対応に忙殺され、本来の業務に差し支えが出てきているレベルにまで来ているのではないかと懸念している。要望が出てくるレベルに応じて対応の方法を分けるシステムがあった方が良いのではないかと思う。例えば、インターネットであればメールで処理できるレベルやインターネットが使えない方ならば、投書をしてもらうとか、窓口で処理できることから会議を開いて対処しなければならないことなどいろいろなレベルでの問題提起が市民からはあると思う。問題のレベルに応じた対応のシステムをつくってはどうかと思う。22 頁に公聴活動のことが記載されているが、公聴会を開くことは最も高いレベルの対応かと思うが、公聴会を開かなくても済むことはたくさんあると思う。しかし、公聴会を開いても聞かなければならないこともある。アメリカでは頻繁に公聴会は開かれている。このようにレベルに応じた対応が効率的、効果的な運営にもつながっていくのかと思う。一番良いのは公務員数を増やすべきだと思っているが、現状は縮小傾向にある。業務の量からすれば公務員数は増やすべきではないかと考えているが、難しい面もあり、総合計画の中に今の提起を入れるかどうかは別の問題ではあるが、対応のレベルを変えることで改善できないかと考えている。</p> <p>委員からいろいろな意見が出されているが、行政の立場として取り入れなくても良いという考え方もあるかと思うので、できるかぎり取り入れて頂きたいが、全てを取り入れる必要はないと思う。行政側からの吟味も加え、対応して頂ければと考えている。</p>

◇事務局より門真市第5次総合計画〈基本計画〉（案）基本計画各論第3章について説明

（本案に関する意見）

発言者	内容
委員	<p>防犯などの指標として全国の順位などが分かるものもあり、そのような指標を使った方が分かりやすいようにも思うが、その指標を使うことが良いのかどうか分からない。</p> <p>防犯灯の設置や交通事故件数などが指標として使われているが、現状がどのレベルにあるのか理解しにくい。例えば、参考値として全国の状況などを示すことにより門真市がどのような状況にあるのかが分かるのではないかと。</p> <p>消防力では、消防署等の配置によって機動力を強化するというような指標が示されているが、数値化できていなく分かりづらい。例えば、何分以内に対応できるカバー率等のような数値化した指標の方が分かりやすいのではないかと。</p> <p>救急体制の指標についても「気管挿管及び薬剤投与資格者数」が使われているが、市民には分かりにくい。市民の関心は病院のたらい回しであると思うので、例えば、現在門真ではたらい回しが何件であったものが、10年後には0にしようとかといったような指標の方が、市民が読んで分かりやすい。</p> <p>AEDについても設置箇所数が示されているが、例えば、理想的に設置すればどの程度なのか、そのうちの程度のレベルにあるのかといったことが把握できる参考データのようなものが示されていると分かりやすいのではないかと。</p>
事務局	<p>参考データについては、この計画全体を通じて相対的なこともあるので、検討をさせて頂きたい。</p>
委員	<p>理解を則するというで、主要なものだけでも参考をつけるということも含めて検討頂きたい。</p>
委員	<p>「事故や犯罪のまち」については、交通事故件数が減少し、改善していくということと同様に、防犯という面では、ひたつくりの改善状況が把握できるようにした方がよいのではないかと。</p> <p>「気管挿管及び薬剤投与資格者数」は救急救命士のことであると思うが、指標は現在の6人をもっと増やすということが良いのではないかと。</p>
委員	<p>救急救命士の中でも気管挿管や薬剤投与ができる資格を有した数を指標化していると思うが、現状の6人が足りているのかどうか課題である。</p> <p>「消防力の向上」については、今後は守口・門真を4分割し、強化していこうという市長の考え方であり、その点が指標化されていると思うが、もう少し具体的に記載した方が分かりやすいのではないかと。</p>
部会長	<p>第3章については、まだ議論が必要かと思われるので、次回も引き続き検討したい。</p>

案件2. その他について

◇事務局から次回第4回審議会第2部会を10月6日（火）午後2時半から第3会議室において開催することについて説明

閉会（部会長）